

建設常任委員会（平成26年9月2日）開催状況

開催年月日 平成26年 9月2日（火）
 質問者 公明党 吉井 透 委員
 担当部課 建設部建設政策局維持管理防災課

質 問 要 旨	答 弁 要 旨
<p>一 道道の通行止めに伴う対応について 大雨被害状況の報告をいただきましたが、私からも質問をさせていただきます。 礼文島の大雨被害では、元地地区の住民が孤立状態となって、住民生活に大きな影響があったと聞いております。 報告をいただきましたが、13カ所で土砂崩れなどが発生して通行止めになった道道元地香深線について、応急工事で緊急車両の通行が可能になったと、また、4日の一般車両の通行再開に向けて鋭意努力中ということでもありますけれども、全面復旧に向けて引き続き対応をよろしく願いたいと思います。 これから、秋の台風シーズンを迎えて、大雨による災害が懸念されますので、全道的な防災対策について、以下数点質問させていただきます。</p> <p>(一) 大雨による事前通行規制の路線数等について まず、大雨による事前通行規制の路線数等についてお聞きをします。 道が管理する道道では、大雨による災害が発生する恐れがある区間について、事前通行規制区間に指定していると聞いているが、現在の路線数と区間数について伺います。 また、事前通行規制を実施した場合に、迂回路がなく孤立状態となる集落が存在する路線数についても併せてお伺いします。</p> <p>25路線、この中に元地香深線も含まれるとのことであったかと思います。</p> <p>(二) 通行規制時の市町村や住民等への周知について 次に、通行規制時の市町村や住民等への周知について伺います。 通行規制は、事前通行規制のような災害の恐れがある場合だけでなく、実際に災害が発生した場合には、当然行われるものと承知しております。 通行規制を行う場合、市町村や住民への周知は、どのように行っているのかお伺いします。</p> <p>(三) 通行止めが長期化した場合の道路管理者の今後の取り組みについて では次に、通行止めが長期化した場合の道路管理者の今後の取り組みについてお聞きします。 道路は、住民の生活にとって欠かせないものであり、今般の礼文島の災害のような通行止めとなった場合には、緊急車両の通行だけでなく、通勤、通学、通院、買い物などに、大きな影響が生じます。今後、災害等により長期に通行止め箇所が発生した場合には、道路管理者として、どのように取り組む考えかお伺いします。</p> <p>ご答弁いただきましたが、片側一車線通行を確保する、そしてまず緊急車両の通行を確保した後に、一般車両の通行を可能とし、それから全面回復へ向かうという、当然のやり方であるかと思います。</p>	<p>○管理担当課長 南 博樹 事前通行規制の路線数等についてでございますが、道では道路交通の安全を確保するため、過去の被災等の状況を勘案して、一定の降雨に応じて、事前に通行規制を行う区間を指定しているところであり、本年4月1日現在指定路線数117路線、指定区間143区間となっております。</p> <p>また、事前通行規制を実施した場合、迂回路がないため、孤立集落等が発生する路線数は、現在、旭川旭岳温泉線など25路線となっているところでございます。</p> <p>○管理担当課長 南 博樹 通行規制時の市町村等への周知についてでございますが、道道の管理を行っている建設管理部では、通行規制情報につきまして、市町村、消防等の関係機関、報道機関等に対し、一斉にファックスとメールにより、周知しているところでございます。</p> <p>また、このような市町村等への周知のほか、直ちに、インターネットによる「北海道地区道路情報」や日本道路交通情報センターと連携した、テレビ、ラジオなどでの周知や、コンビニエンスストアを活用した情報発信、さらには、孤立のおそれのある宿泊施設等への直接伝達を行うなど、道路利用者や住民への周知に努めているところでございます。</p> <p>○施設保全防災担当局長 清水 文彦 道路の通行止めについてでございますが、災害により通行止めが発生した場合は、市町村をはじめ警察など関係機関と情報共有を図るなど連携しながら道路の早期復旧に努めることが重要と考えているところでございます。</p> <p>このため、道といたしましては、復旧にあたっては地域への影響が最小限になるよう速やかに応急工事に着手し、まずは、片側一車線での緊急車両などの通行を確保し、その後、できるだけ早期に一般車両の通行も可能とするなど、住民生活や経済活動が回復されるよう取り組んでいかなければならないと考えているところでございます。</p>

質 問 要 旨	答 弁 要 旨
<p>(四) 今後の防災対応について 今後の防災対応についてですけれども、これ最後の質問でございますが、これから秋を迎え、台風などにより集中豪雨が心配されますが、大雨による防災対応について、どのように取り組む考えか、最後にお伺いします。</p> <p>部長からご答弁をいただきましたが、緊張感をもった迅速な対応というものを重ねてお願いして質問を終わります。</p>	<p>○建設部長 下出 育生 今後の防災対応についてであります。道といたしましては、近年多発している予測が困難な集中豪雨など、気象状況の変化に対応するため、洪水や土砂災害に備えた道路、河川等の整備や施設の適切な維持管理に努めてきているところでございます。</p> <p>今後とも、気象情報の迅速な収集や道路パトロールなどにより、危険箇所の事前通行規制などを的確に行うとともに、市町村等へ迅速に情報伝達をするなど、道民の皆様の安全・安心な暮らしが守られるよう、台風シーズンを迎え、常に危機意識をもって、防災対策の取り組みに万全を期して参る考えでございます。</p>